

「Linux用常駐型インベントリ収集エージェント v1.2.0」 アップデート手順書

2023年1月31日

株式会社蒼天

はじめに

本手順書は「Linux用常駐型インベントリ収集エージェント（以下、Linuxエージェント）」をv1.2.0にアップデートする手順です。

1.動作環境

	項目	仕様	備考
1	OS	Red Hat Enterprise Linux 6、7、8 CentOS 6、7、8	各バージョンごとにインストーラ(rpmパッケージ)が異なります。
2	メモリー	512MB以上	
4	HDD	10MB以上の空き容量(本体プログラム、ログファイル用)	
5	ネットワーク通信	管理サーバとhttpまたはhttps通信が行える必要があります。	

2.用語の説明

	本手順書での用語	説明	備考
1	管理対象Linux	Linuxエージェントをインストールしインベントリ情報収集を行うLinuxマシン	
2	Linuxエージェント	自動でインベントリ収集を行う、管理対象PCにインストールする常駐型プログラム	
3	管理サーバ	Linuxエージェントが収集したインベントリ情報のアップロード先サーバ (LogVillageマネージャ)	

3.インストール環境の前提条件

	項目	説明	備考
1	コマンド①	<p>以下のコマンド実行が可能なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ dmidecode ・ hostname ・ domainname ・ ls ・ getconf ・ lsblk ・ df ・ lspci ・ udevadm ・ ip ・ 右記の何れか（rpm、repoquery、dpkg-query） ・ cat ・ grep ・ egrep ・ type ・ echo ・ mkdir 	<p>・ 左記コマンドは、インベントリー情報の収集時にエージェントが実行するコマンドとなります。</p> <p>・ 「dmidecode」コマンドがインストールされていない場合、以下のファイルがあれば同コマンドは不要となります。</p> <p>/sys/devices/virtual/dmi/id/sys_vendor /sys/devices/virtual/dmi/id/product_name /sys/devices/virtual/dmi/id/product_serial /sys/devices/virtual/dmi/id/product_uuid</p>
2	コマンド②	yumコマンドが実行可能なこと	コマンドや依存パッケージの追加インストールが必要な場合にのみ必要となります。

4.アップデート時に追加が必要な依存パッケージ

	区分	内容	備考
1	依存パッケージ	1) libboost_regex（RedHat 8、CentOS 8のみ）	
2	パッケージのインストール方法		
	Red Hat 8、CentOS 8	sudo yum install boost-regex	・ boost-xxxのバージョンは1.66となります。

5.Linuxエージェントのアップデート手順

	区分	内容	備考
1	Linuxにログイン	sudo権限を持つアカウントでログイン	
2	インストールパッケージを配置	各対応OSバージョンのrpmパッケージを管理対象Linuxの任意の場所に配置 (RedHat 8、CentOS 8) lvinventory-rh8-1.2.0-1.x86_64.rpm (RedHat 7、CentOS 7) lvinventory-rh7-1.2.0-1.x86_64.rpm (RedHat 6、CentOS 6) lvinventory-rh6-1.2.0-1.x86_64.rpm	
3	configファイルをバックアップ	以下のファイルを任意の場所にバックアップ ■ファイル名：/usr/local/share/lvinventory/config.ini	
4	アップデート	以下のコマンドを実行 sudo rpm -Uvh [各対応OSバージョンのrpmパッケージ名].rpm	
5	configファイルを配置	3.でバックアップした場所に移動し、config.iniをインストールフォルダに上書きコピー sudo cp config.ini /usr/local/share/lvinventory/config.ini	
6	インベントリ取得確認	管理サーバにてインベントリ情報収集確認 ・（管理画面）資産管理→ハードウェア台帳画面にて、当該管理対象Linuxのインベントリ情報の最終取得日時が更新されることを確認	

6.Linuxエージェントのアンインストール手順

	区分	内容	備考
1	アンインストール	以下のコマンドを実行 sudo rpm -ev lvinventory	
2	定期実行設定を削除	crontabから定期実行設定を削除 ①以下のコマンドを実行 sudo crontab -e ②以下の設定を削除 0 */3 * * * /usr/local/bin/lvinventory	
3	不要ファイルを削除	以下のディレクトリを削除 /var/tmp/lvinventory	

7.Linuxエージェントの強制実行手順

	区分	内容	備考
1	強制実行	以下のコマンドを実行 sudo /usr/local/bin/lvinventory	

8.Linuxエージェントの動作ログ

	区分	内容	備考
1	動作ログの出力場所	/var/tmp/lvinventory/log/	